



女子個人単で優勝した元山未優
(鳳凰)

＝県立鴨池庭球場(南正和撮影)

しぶとさ発揮

○…鳳凰高同士のライバル対決となった女子シングルスは、元山が自慢のしぶとさを発揮し頂点に立った。「自

分らしいプレーで勝ててうれしい」と屈託なく笑った。

8ゲームマッチで2ゲームを先取されるも「絶対勝つ」と自らを奮い立たせた。左右に大

きく揺さぶってくる相手の戦術に「手が届かなそうなボールでも追いかける」ことを徹底。懸命に食らいつくうちに流れを引き寄せ、終盤は7連続ゲームを奪って振り切った。

先月の樋口杯で4強入りし「自信がついた」。毎日8時間の練習を重ね、団体戦、ダブルスと合わせ3冠を達成。シングルスでは初の全国総体に「4強に入りたい」と飛躍を誓った。

(山下紗采)